

選挙を 見つめて

19あおもり

統一選を終えて①

るさん(19)「八戸市」は「今回の
の県議選と八戸市議選が自分に
とって初めての選挙だったの
で、実際に投票する時はとても



根本ひかるさん(19) 八戸・八戸学院大2年

無投票 地域衰える

んな(緊張する)経験もできな
い。住民の意識が反映されない
し、立候補する人が少ないこと
で、実際に投票する時はとても

七戸町の運送会社社長、中村
健さん(65)は県議選の投票率が
過去最低の48・38%だったこと
について「昭和50年代は70%以
上もあったのが、40年ほどで20
〜30%も下がっている。政治に
期待しなくなってしまうのか
な」と現状を憂えた。また、七
戸町議選が定数16に対し立候補
者が18人だったことには「選挙
に出る人が少ないということ
は、ある意味、若い人にとって
は政治家になるチャンスではな
いか」との見方を示した。

ついては、根本さんも「50%を
下回ったことに驚いた」。その
上で「逆に考えれば、投票に行
かなかつた人たちがみんな結
束するようになれば、今の政治
を動かせる」との思いも持った
という。

県議選から始まり市議選、板
柳町長選・町村議選が行われた
県内の統一地方選が21日終了し
た。今回の連載で取材している
6人に今、どのようなことを思
っているのかを聞いた。

(本紙取材班)

◇ 八戸学院大学2年の根本ひか

緊張した」という。一方で県内
各地で無投票当選の選挙があっ
たことについて「無投票ではこ

いる気がする」と話した。
むつ市でパン店を経営する中
川礼子さん(59)は「投票所で、

無投票などの投票率の低さに

魅力を感じられない」と強調
した。